

派遣交換留学 報告書

派遣先大学名 (国)	明知大学 (韓国)
派遣期間	2023年2月から2023年6月 約4ヶ月
渡航年月日	2023年2月25日
帰国年月日	2023年6月18日
派遣時の年次	4年次

派遣先大学における授業等の履修状況			
履修した講義名 (教授言語)	講義の履修期間	講義時間/週	本学単位読替可否
Marketing research (英語)	春学期 (2023年3月~6月)	2時間半	(○)
Seminar on international business (英語)	春学期 (2023年3月~6月)	2時間半	○
Introduction to Korean conversation (英語)	春学期 (2023年3月~6月)	2時間45分	×
Introduction to Korean application (英語ということになっていますが実際は韓国語しか使っていません)	春学期 2023年3月~6月)	2時間45分	×

1週間のスケジュール					
曜日	午前	午後	曜日	午前	午後
日			木	授業	ISF (韓国語)
月	授業	授業	金		授業
火		English Cafe	土		
水	授業	授業			

派遣交換留学が決まるまで、渡航準備
交換留学に応募したきっかけや、どのようにして渡航準備・現地の情報収集を行ったか、海外プログラムや就職活動への不安や工夫したことについて記載してください。
1. 自分と年が近い海外の学生と実際に会って交流してみたかったから。韓国の文化に興味があ

- ったため。海外プログラムがオンラインになってしまったため。
2. 就活に関しての不安はありました。なるべくオンラインの説明会に参加したりして留学中も空いた時間に活動できるようにしましたが、現地でのイベントや授業と被ってしまう事が多く、うまくいきませんでした。3～4年生での留学はお勧めしません。
 3. 渡航準備を始めたのは学内選考の結果がわかってからです。ほとんどの手続きをスタッフの方が手伝ってくださったのであまり苦労していませんでした。しいていうならヨンジ大学からの連絡がかなり遅いです。
 4. 大学のホームページ、SNS から明知大学や現地の生活などの情報収集を行いました。
 5. 航空券の手配は学校経由で JTB さんをお願いしました。保険も学校のお勧めのものに入りました。
 6. 韓国語は簡単な挨拶、文法の勉強を二ヶ月程度勉強しました。

交換留学先の大学について

留学先大学の印象や現地学生の雰囲気、1日のスケジュール、交換留学先大学の留学生受入サポートやオリエンテーションの様子、利用できる学内施設にはどのようなものがあるか記載してください。

1. 生徒に対するサポートが素晴らしい大学だと思います。校内は清潔で、図書館にある本の数は県大とは比べものにならないほど多いです。留学生や交換学生のためのバディ制度もあります。100円朝食の提供もあります。活気があり、定期的に学生または学校主体のイベントが開催されています。都会の大学らしく、企業が無料で製品を配ることも有ります。真面目でフレンドリーな学生が多いです。とても熱心に勉学に励むので試験期間中は図書館に空いている席がありません。特に、英語で行う授業を受講する学生は勉強熱心な方が多く、海外でのインターン経験のある人や、留学を予定している学生など多くいて、毎回尊敬していました。
2. 食堂、図書館、運動場もありますが使用したことはないです。図書館は充電コードが有りますし Wifi も通っているのでお勧めです。学校敷地内に喫煙所もあり、多くの学生たちがそこでたばこを吸っています。
3. 正規授業は火曜日以外毎日有りました。それに加えて火曜日の午後から English Café という英語学習の授業と、木曜日に ISF という交換留学生向けの韓国語授業を受けていました。空いた時間に買い物、掃除、授業の復習やミーティングをしていました。
4. 留学生へのサポートやオリエンテーションは悪くないと思います。ただ、コミュニケーションの問題なのか、文化の違いなのか、少し問題があるときもありました。

学修面について

留学先大学の授業の様子、履修科目と履修方法、学修面の相談に乗ってくれる人や場所、また単位取得にあたり注意点があれば記載してください。

英語で経営の授業を二つ、韓国語基礎の授業を二つ受講しました。英語の授業をとっていたため、周りはほとんど現地の韓国人ではなく交換留学生でした。マーケティングの授業は基本的に教授がひたす

ら話すスタイル（たまにプレゼンと宿題）で、セミナーのほうは主にディスカッションとプレゼンテーションでした。ヨーロッパから来ている学生はディスカッションにかなり積極的で、話すスピードも速いので授業についていくのに必死でした。韓国語の授業は基本的に先生の講義 80%、クラスメイトとの練習 20%という感じです。教授はあまり英語が得意ではないようで、韓国語で説明をすることが多かったです。私は韓国語を少し勉強したのである程度理解できましたが、韓国に来るまで韓国語学習をしていなかった学生たちは苦労していました。履修登録はオウラミのバディのかたがおこなってくださりました。一年間交換留学する学生の場合は、秋学期はじぶんで履修登録する必要があるようです。また、教科によっては履修人数が多くて履修できない教科があるので早めにオウラミの方に相談するのをお勧めします。ただ、オウラミのかたも忙しいため、バディによっては対応が遅かったりする場合もあります。

日本帰国前に日本人学生向けに学修面についての相談会がありましたが、わたしは帰国するのであまり関係がありませんでした。

単位の取得については、一応シラバスなどはあるようですが、授業の進み具合等でかなりかわるようです。私も詳しくわかっていません。基本的には絶対評価ではなく、相対評価のようです（クラス内の順位で成績が決まる）。

生活について

宿泊場所はどのように決まりましたか。宿泊先とそこでの生活の様子を記載してください。

韓国到着一日目は、金浦空港直結のロッテシティホテルに宿泊しました。その後は大学の寮です。大学の敷地内にあります。経営系の授業のある建物までは歩いて五分くらいです。

四人部屋（沖縄の大学の日本人二人と、ロシア人）で生活していました。

寄宿舍内にはランドリー、休憩所、キッチン、セブンイレブン（休日は正規留学生と学生のみ使用可）があります。

常駐のスタッフの方や、掃除をしてくださる方もいてとてもありがたかったです。

↓ベットなどの寮の部屋の写真





スーパーやレストラン、学食、日々の食事などの様子、習慣の違いに戸惑ったことがあれば記載してください。

【食事】レストランの衛生面は少し気になる事がありましたが、すぐ慣れました。食事のマナー等というと、取り箸を使わずみんなで同じ料理を食べることは少し戸惑いました。（でもそれもすぐになれます）
 寄宿舍内の共同キッチンが使えない（一つしかない、狭い、韓国・中国人学生が長時間使っている）ため、基本的に学食か、外食、コンビニ食でした。自炊ができないため、食事の出費が多く、野菜も不足しがちでした。袋麺を食べたい場合は、ダイソーでレンジラーメン調理器が売っているのでそれを使っていました。

【生活】車やバイクの運転が日本より荒いです。横断歩道が青なのに普通に車が通るので交通事故には気を付けた方がいいかもしれません。

トイレはトイレットペーパーが流せないものもあるので戸惑いました。学校と寄宿舍のトイレは流せます。流せないトイレの場合は「トイレットペーパーは流さないでください」と書いてある紙が個室に貼ってあります。

寮にある洗濯機の威力が強いです。洗濯ネットは使用しないでくださいと注意書きがあるため洗濯ネットは使用できません。おしゃれ着は持ってこない・買わないほうがいいと思います。

留学中に北朝鮮のミサイルの警報がありました。オウラミの方や他の韓国学生にどこへ避難するのかをきいたところみんなわからないとのことでした。韓国は地震等があまりないため、そういった情報があまりない、少なくとも学生のあいだでは情報が回っていないようです。小さい頃から避難訓練をするのが当たり前だったのでカルチャーショックでした。



学食のメニュー

<p>通信機器（スマホ、パソコン）の使用環境と、日本から持参した方がよいアイテムを記載してください。</p> <p>スマホ、パソコンは日本から持参しました。また、ヘア 드라이ヤー、アイロンも持って行きました（なぜかアイロンとドライヤーがどちらも壊れてしまったので変圧器を日本から持って行くのではなく、現地購入をおすすめします！）。日本のコンセントと韓国のコンセントは形が異なるので変換プラグは必ず必要です。</p> <p>寮には Wi-Fi がありません。三十分毎に広告を見れば公共の Wi-Fi が使えます。</p> <p>寮の部屋にはインターネットコードを刺す場所があるのでそこにケーブルを挿せばインターネットが使用できるようですが、なぜか私のパソコンは使用できなかったため、インターネット使用するために毎回学校校内か図書館、カフェにいました。町中は Wi-Fi が至る所に飛んでいます。バスの中にも Wi-Fi があるので快適です。</p> <p>日本にあるものは大抵韓国にあります。特定のブランドがよいなどのこだわりがある方は日本から持参すれば良いと思います。個人的に生理用品は日本のブランドの方が使い勝手がいいので持参をお勧めします。それから小分けの緑茶パックと味噌汁パックがあると便利です。日本食が恋しい時や、他の国の友達へのちょっとしたプレゼントに使えます。</p>
<p>病院の受診と支払い方法について記載してください。</p> <p>風邪をひいたため二回ほど受診しました。保険がきかなかったため、一回目 17320 ウォン、二回目 14756 ウォンかかりました。支払いはカードで大丈夫でした。看護師の方は英語がわからないので韓国語で話しかける必要があります。お医者さんは英語を理解してくれましたが、説明は韓国語とジェスチャーでした。薬は病院の隣が薬局だったためそこで購入しました。薬剤師さんは英語が話せる方で丁寧に説明をしてくださりました。</p>
<p>入国から授業を開始するまでの間に必要な手続きについて記載してください。</p> <p>日本でハナ銀行口座を作りましたが、日本のハナ銀行と韓国のハナ銀行は別らしく、意味がありませんでした。ガイダンスの時に口座についての説明があるのでそこでつくるのを勧めます。</p> <p>携帯は空港で SIM カードを購入しました。絶対に日本にいる間に SIM ロックの解除をすることをお勧めします。初日に何時間も空港にいることになります。入寮の際には書類の記入と書類の提出があります。そこで肝炎の検査を持って行く必要があるのですが、基準を満たしていなかったらしく、韓国でもう一度受ける事になりました。</p> <p>ガイダンスでは施設の説明とオウラミの人たちの紹介、外国人登録証についての話、写真撮影があります。</p> <p>外国人登録証の手続きは入国後、他の交換留学生たちと一緒にいきます。手続きから交付までとても時間がかかるため、しばらくは身分証明のためにパスポートを持ち歩く必要があります。また、ペダル（韓国の出前の注文）等もできません。</p> <p>授業開始後の話ですが、日本人は必ず韓国の保険を放棄する手続きをする必要があります。これは個人的に行く必要があります。スタッフの方にきけばどこで手続きができるのか教えてくれます。</p>
<p>授業が終了して帰国までの間に必要な手続きについて記載してください。</p>
<ol style="list-style-type: none"> 1. 大学に帰りの飛行機を教える 2. 寄宿舎内の掃除と退寮のためのグーグルフォームの記入

<p>3. 使っていた寮のルームカードとベッドシーツの返却</p> <p>4. (空港に着いてから) 外国人登録証の無効化</p> <p>5. Visit Japan Web (任意)</p> <p>6. 学校に帰国の報告</p>
<p>その他、市内の移動方法や、留学生コミュニティ、留学期間中の外国旅行について、留学生のアルバイトなどについて記載してください。</p>
<p>市内の移動は基本的にバスです。シェアリング自転車を何ヶ月か契約している人もいました。電車に乗りたい場合はバスでホンデにてからホンデイック駅から電車に乗る場合が多いです。</p> <p>日本人学生の集まりが一度ありました。また、オウリムという日本語サークルがあり、そこで他の日本人留学生と会うことができます。オウリムから日本人留学生に向けてメールが届いて、そこからサークルに入部する形になります。しかし、私にはそのメールが届かなかったため、他の日本人学生から教えてもらって入部しました。もしかしたら個人の所属している大学によってメールが届く人と届かない人がいるのかも知れません。</p> <p>私は韓国に留学期間中ずっといましたが、他のブラジル人学生などはフィリピンへ行っていたようです。アルバイトは長期留学のかたはすることができます。私はしませんでした。他の学生は日本料理店や制服レンタル店などで働くことが多いようです。バイト探しのアプリがあるのでそれを使って探す事が主流のようです。</p>
<p>お金のことについて</p>
<p>学校生活や宿泊先などで必要な費用について記載してください。また日常生活の買い物で一般的な支払方法、お金の持参方法や現地での管理方法について記載してください。</p>
<p>合計で 70 万ぐらいだと思います。</p> <p>買い物は基本的にカードで行います。普通に買い物をするぶんには現金は必要ありません。ただし、外国のカードが使用できないお店があるため注意が必要です。</p> <p>✿現金を使うケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 学内の洗濯機の使用の際はランドリーカードを使います。現金でチャージするものです。 ● 移動の際はティーマネーといわれる交通カードを使います。使い方は Suica とほぼ同じです。コンビニで購入できます。 ● 友達とご飯を食べた場合、割り勘が基本です。私は口座がないので現金で支払いました。韓国口座を持っている場合、カカオペイ（ラインペイのようなもの）で割り勘することが多いようです。 ● 学校主催のイベントでお金が必要な場合（外国人登録証作成の際の移動費など）、大学から現金を直接渡すように言われます。

コロナ感染症対策等について

渡航までに必要だった検査、手続き/隔離期間の有無、手続き、隔離期間の費用、隔離中の大学との連絡方法/交換留学先でのコロナ対策/帰国前に必要だった検査、手続き/日本出国及び帰国時に空港で必要だった検査、手続きについて記載してください。

コロナウイルスに関する制限はほとんどありません。隔離等もありません。

コロナウイルスの影響でバスの中で蓋のない飲料水（スタバのフラペチーノのようなものも含む）が飲めないぐらいです。

↓ 交換留学生たちの写真、大学の写真



派遣交換留学 報告書

派遣先大学名 (国)	韓国・明知大学
派遣期間	2023年9月から2023年12月 約半年間
渡航年月日	2023年8月26日
帰国年月日	2023年12月20日
派遣時の年次	4年次

派遣先大学における授業等の履修状況

履修した講義名 (教授言語)	講義の履修期間	週あたりの講義時間
Understanding of International development cooperation (英語)	秋学期 (2023年9月~12月)	2時間45分
Introduction to Korean application (韓国語)	秋学期 (2023年9月~12月)	2時間45分
Introduction to Korean conversation (韓国語)	秋学期 (2023年9月~12月)	2時間45分
Strategic Management (英語)	秋学期 (2023年9月~12月)	3時間30分

1週間のスケジュール

曜日	午前	午後	曜日	午前	午後
日	自由	自由	木	勉強	講義
月	講義	勉強	金	講義	勉強
火	講義	ゼミナールⅢ	土	自由	自由
水	講義	アルバイト			

派遣交換留学が決まるまで、渡航準備

交換留学に応募したきっかけや、どのようにして渡航準備・現地の情報収集を行ったか、海外プログラムや就職活動への不安や工夫したことについて記載してください。

・交換留学に応募したきっかけは、もともと海外で勉強できる機会があることに魅力を感じ本学に入学したが、新型コロナウイルスの影響で海外プログラムがリモートになってしまい、不完全燃焼だったため。もっと広い視点から経営を学んでみたいと思ったから。

・4年生の秋学期（8月下旬）から派遣されたが、海外プログラムは既に3年生で参加済みだったので、個人的には良いタイミングだった。また、帰国後は休学を計画しており、その1年で就職活動もやっていたらと考えていた。しかし、就職活動に不安はあったため、3年生から説明会や選考会には参加、練習し、留学中もオンラインで行われる説明会等に参加していた。

・渡航準備については、グローバルセンターと先に派遣されていた先輩からお話を聞いて進めた。VISAの申請に時間と労力がかかるため、計画的に行くと良い。航空券の手配はVISAが届いてからの指示があり、結局渡航10日程前にぎりぎり自分で手配した。（アジアナ航空、羽田→金浦）ぎりぎりになるほど高いし焦るので、個人的にはVISAの申請時にはしてもよいと思う。おすすめは、エアプレミアという航空会社。安価で他航空会社よりも荷物を多く預けられ、重量の上限が高い。

・保険は、グローバルセンターから紹介をいただいた保険に入った。基本的にこの保険で賄えると思う。メールでのやり取りで契約を進めたが、しばらく先方から連絡が来ず、結局渡航5日程前にぎりぎり保険料の支払いが完了した。留学先大学に保険の証明書を送らなくてはならず、提出が遅れてしまったため、少しでも不安になったらすぐに確認を取るとよいと思う。

・現地の情報収集については、先に派遣されていた先輩に連絡を取り、情報収集をしていた。渡航時は通り魔事件が頻繁に発生していたこともあり、治安が良くなかったため、ニュースやYouTubeで韓国留学している人の発信を見て、最新の情報を得るように心がけていた。

交換留学先の大学について

留学先大学の印象や現地学生の雰囲気、1日のスケジュール、交換留学先大学の留学生受入サポートやオリエンテーションの様子、利用できる学内施設にはどのようなものがあるか記載してください。

・明知大学のソウルキャンパスは、坂の印象が強い。ソウル市内の大学は、特に優秀な学生が通うらしく、学歴社会だけあって、現地の韓国人学生はとても勉強熱心だった。同時期に留学を開始した交換留学生は、日本人は5人で、フランス人が多く、様々な国籍の学生がいた。

・8時ごろ起床して準備をし、午前中の授業に出席し、午後は課題や韓国語の勉強をし、ご飯を食べに出かけるルーティンだった。

・明知大学の留学生サポートは、基本的にアプリを通して行われ、必要があればオフィスへ伺った。オウラミと呼ばれる留学生サポートパートナーが留学生7人に1人つき、分からないことをすぐ聞くことが出来た。このオウラミがオリエンテーションや留学生アクティビティーを企画してくれる。今季の留学生交流アクティビティーは、漢江クルーズ、エバーランド、テコンドー、キムチ作りから2つ選択できた。これらのアク

ティビティーは任意だが、スポーツデイという体育祭のようなイベントは参加必須だった。オリエンテーションは英語と中国語で行われ、とても分かりやすかった。

・利用できる学内施設は、現地学生と一緒に全て利用できる。図書館に入るためには、アプリをダウンロードしてQRコードをスキャンする必要がある。会費を支払えば、ジム会員になることも可能である。学食も完備されている。

・銀行と郵便局が学内にあり、銀行は携帯料金の送金等に、郵便局は日本へEMSを送るのによく利用していた。

学修面について

留学先大学の授業の様子、履修科目と履修方法、学修面の相談に乗ってくれる人や場所、また単位取得にあたり注意点があれば記載してください。

・履修は渡航前にオウラミのサポートを受けながら申請した。一講義3単位で、交換留学生は12単位以上取る必要があった。授業開始1週間までは変更可能であった。私は、学びたい経営戦略の講義をメインに、シラバスや時間割を見ながら決めた。交換留学生は、英語コース・韓国語コース関係なく、韓国語 or 韓国文化の授業を二つ以上取らなければならなかったため、いずれにせよ韓国語の勉強はしておくよと思った。

・専門科目の授業は、基本的に日本と同じ様子で全て対面で、分からないことがあれば手を挙げてすぐに質問できた。グループディスカッションが多くあり、交換留学生はとても熱心に取り組んでいた。

・専門科目の相談は教授と一緒に授業を受けている友人にし、韓国語は韓国人の友達に聞いていた。オウラミの人にも相談可能なので、心配はいらないと思う。

(写真は Understanding of International development cooperation の講義で、グループディスカッションをしている様子)



生活について

宿泊場所はどのように決めましたか。宿泊先とそこでの生活の様子を記載してください。

・宿泊場所は安さで選び、明知大学の寮に応募した。9階建てでとても大きく、階で男女が別れているが、各階に行くには顔認証をしないと入れないため、安全性は高いと感じていた。2人部屋と4人部屋があるが、私が応募した時期は2人部屋の空きが無かったため、4人部屋に申し込んだ。キャンパス内にあり、またキャンパス自体もそれほど広くないので、一番遠い棟での講義も寮を10分前に出れば間に合う。ルームメイトは、交換留学生1人と正規学生の2人と一緒だった。他の部屋も、だいたいは同じ国の人から構成されていた。ただ、プライバシーが全く無かったり、揉め事があったりしたため、神経質な人はコシウォンや、一人暮らしが良いと思う。

・1階に洗濯機と乾燥機があり、一回各1000krw。キャッシュカ専用のカードを購入しないと支払えないので、最初はある程度現金を持っていると安心。

・部屋では炊事が禁止されているので、調理をする場合はキッチンがある4階に行かなくてはならない。
(写真は、9階建ての寮)



スーパーやレストラン、学食、日々の食事などの様子、習慣の違いに戸惑ったことがあれば記載してください。

・学食があり、朝は1000krw、昼・夜は6500krwで食べることが出来る。そんなに安くはないが、韓国は物価が高く野菜やお肉をそんなに食べられなかったため、栄養不足が気になったときに週に1回程利用していた。キムチが毎回出たり、おかずも辛かったり、韓国の食文化に触れることが出来た。現金は使えないので、カードが必要。

・日々の食事は、寮で食べる時は大学のすぐ下に E-mart というスーパーがあり、そこでご飯を買っていた。寮の 4 階に簡易的なキッチンがあるが、大勢の学生が住んでいるため、毎日自炊することは現実的ではなさそうだった。大学の周辺には、ご飯屋さんがたくさんあるので、基本的には外食をしていた。日本食屋も数店舗ある。

・習慣の違いに戸惑ったことは無い。韓国料理は基本的に辛いので、辛いのが苦手な人は食べなれている物を持参すると良いと思う。私は好きなので、韓国料理を堪能していた。

通信機器（スマホ、パソコン）の使用環境と、日本から持参した方がよいアイテムを記載してください。

・スマホ・パソコンは日本で使っていたものを持参した。これらは変圧器が無くても変換プラグがあれば充電できる。変圧器は持っていかなかったし、必要だと思った機会は無かった。韓国のプラグは C タイプと SE タイプが使われているが、SE タイプ主流なため、SE タイプに対応した変換プラグを持参すると良い。Amazon で 300 円程で購入可能。現地では調達が難しいので、数個持っていくと良いと思う。

・寮には Wi-Fi が完備され、キャンパス内もほとんどの場所で Wi-Fi 使用可能だった。

病院の受診と支払い方法について記載してください。

・生レバーを食べて食あたりしたときに、大学近くの内科にかかり、薬を処方してもらった。日本語対応の病院ではなく、現地の一般的な内科で、翻訳機を使って会話をした。薬の説明等、韓国語が分からないと相手に迷惑をかけるため、韓国語が分かる友人についてきてもらった。

・日本語対応の病院が、大学から一番近い所で延世にある。不安な人はそのような所を調べていくと良いと思う。

・支払いは、日本と同じように現金と card が使えた。料金も高くない。

入国から授業を開始するまでの間に必要な手続きについて記載してください。

・オリエンテーションで全て説明される・

・外国人登録を行う。手続きが複雑で大変だったが、説明をよく聞けば問題ない。

・入国してからは、日本の携帯会社で申し込んだ海外でもモバイル通信を使用できるプランを使用し、オリエンテーションの日に、大学側から初月 1 か月無料の Sim をいただいた。その後は毎月自分で銀行口座に振り込みをして継続して利用した。

・銀行口座を開設したい人は、銀行口座の開設手続きが必要。

・交換留学生は、寮で寝具を購入できた。

授業が終了して帰国までの間に必要な手続きについて記載してください。

・退寮する日を報告し、部屋の掃除をする。

・帰国のフライトチケットを購入し、明知大学に送る。

・出国審査の際に、外国人カードを返却。

その他、市内の移動方法や、留学生コミュニティ、留学期間中の外国旅行について、留学生のアルバイトなどについて記載してください。

・ソウルは公共交通機関が発達しており、地下鉄とバスを頻繁に使用した。交通系カードを買い、駅やコンビニでチャージをして、乗車料金を支払った。韓国は交通費がとても安いので、助かった。明知大学は最寄り駅が徒歩で 30 分ぐらいと遠かったので、バスを利用している人が多かった。便数が多いので、待たされることはあまり無い。自転車は坂が多いので、逆に大変だと思う。

・タクシー料金も日本と比較すると安いが、個人タクシーの場合、日本人と分かるとぼったくりに合うことがあるため、カカオタクシーを利用すると安心である。

・他の交換留学生とは、授業が一緒だったり、寮の部屋が近かったりして、友達が多くできた。私は、日本語学科の学生から構成されるサークルに加入し、現地の日本語を勉強している学生と交流を深めた。自分から話しかけたり、行動したりすることで、いくらでも交友関係は広がると思う。

・私は留学期間中に外国旅行へ行かなかったが、行っている友人や一時帰国している友人がいた。

・交換留学生が韓国でアルバイトを行うには、政府に何らかの申請をしなければならない。現地でアルバイトはしていなかったが、日本で継続して行っていたオンライン家庭教師は韓国でも続けていた。

・街中は、だいたいのお店で英語が通じるが、通じない時は「Papago」という韓国語翻訳アプリを使ってコミュニケーションを取っていた。

(写真はサークルの懇親会の様子)



お金のことについて

学校生活や宿泊先などで必要な費用について記載してください。また日常生活の買い物で一般的な支払方法、お金の持参方法や現地での管理方法について記載してください。

・VISA の申請に銀行残高証明書が必要である。

・寮費は、約 4 か月で 15 万円弱だった。

・食費を含めて一か月 10 万円程出費があり、一般的には card 払い。安いお店や屋台は現金だけしか使えないところが多いので、カードも現金も持っていくとよいと思う。

・私は銀行口座を開設しなかったが、口座をつくる事が出来る。しかし、銀行口座を開設した人は 2 か月ぐらいと時間がかかっていたので、ある程度最初に現金を持っていく方が良い。

・特別な管理方法はしていない。

コロナ感染症対策等について

渡航までに必要だった検査、手続き/隔離期間の有無、手続き、隔離期間の費用、隔離中の大学との連絡方法/交換留学先でのコロナ対策/帰国前に必要だった検査、手続き/日本出国及び帰国時に空港で必要だった検査、手続きについて記載してください。

- ・新型コロナウイルスに関して特別な手続きは無かった。
- ・インフルエンザが流行っており、ルームメイトが感染したが、寮の別の部屋に移る等の対応は無く、マスクをしながら乗り越えた。